事業箇所総合評価シート

【担当課：奈良公園室】

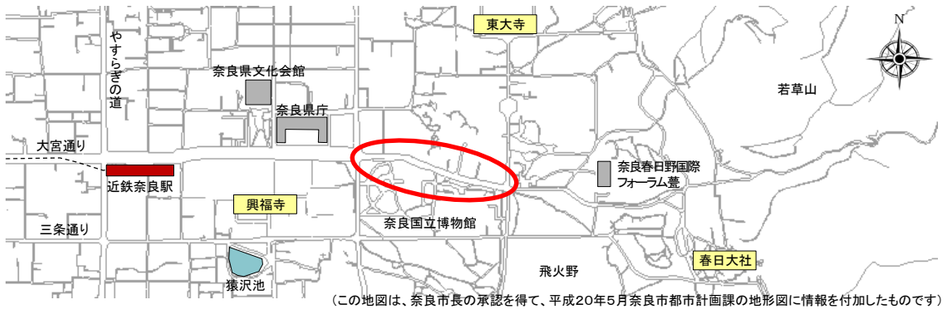
事業名	奈良公園交通環境整備事業	路線名等	奈良公園
箇所名	奈良市登大路町　県庁東交差点～大仏殿交差点		

事業の概要	目　的	奈良公園およびその周辺の整備を行い、奈良の魅力を一層高める環境の充実を目指す。				
	事業内容	延長　　L＝500m 歩道幅員　W＝2．0m				
	着手年度	平成24年度	完成予定年度	平成26年度	全体事業費	150百万円

定性的評価	事業の必要性	【必要性】 奈良公園における現状の課題として、自動車と歩行者の動線の交錯が挙げられ、徒歩で周遊する来訪者に対して、安全・安心な歩行環境を創出する必要がある。また、全国有数の観光地である奈良公園周辺を中心に交通渋滞が発生しており、要因のひとつである歩行者の分離を図る。 【緊急性】 現在、来訪者が自動車と接触の危険をおかしながら歩いている状況であり、早急な対策が必要とされている。（添付写真参照）
	上位計画等	「奈良公園基本戦略」「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」
	事業の有効性（事業により予想される効果及び影響）	【費用対便益】 B／C＝
		【便益に計上されていない効果】 ① 安全・安心な歩行環境の創出により、来訪者にとって周遊散策という選択肢が広がることで、奈良の魅力をより深く味わってもらうことができ、再び訪れていただくためのアピール材料となる。 ② 歩行者の安全確保により、「歩く楽しみ」を味わうことから、ゆっくりとした時間をとった来訪につなげ、宿泊者の増加に寄与。 ③ 歩行者が増加することで、周辺土産物屋などのにぎわいづくりの一因となる。 ④ 歩行者が多数道路を横断している状況であるが、歩道整備によりその乱横断を抑制することができ、スムースな車両通行につなげることができる。
	コスト縮減への取組み	・歩道設置に伴う水路等の二次製品の使用 ・舗装材の再生材の利用
	地元情勢等	・平成24年8月下旬に地元総代と協議を行い全員から賛同を得る。 ・平成24年12月下旬に地元自治会事業説明会を行い、賛同を得る。
	他計画他事業との関連	

評価結果	左　の　理　由
採　択	奈良公園基本戦略に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択とする。

【位置図】



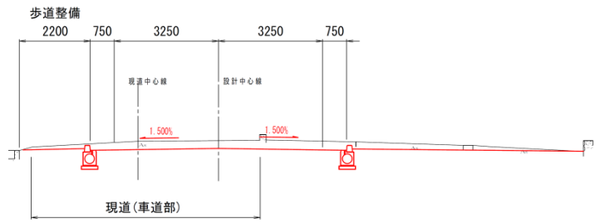
（この地図は、奈良市長の承認を得て、平成20年5月奈良市都市計画課の地形図に情報を付加したものです）

【現況写真】

歩行者のすぐ横を車両が通行し危険！！

【整備イメージ】

【計画図面】

平　面　図

横　断　図